

2016年10月13日

第1号

全労連



全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

大激戦！新潟県知事選挙

市民の力で、原発再稼働反対の新しい県知事を！

大激戦の新潟県知事選挙は、10月16日投票日を迎えます。市民団体と5野党（共産・社民・生活・新社会・緑）が擁立した米山隆一候補が、いま猛追している状況です。参院選に続いて、県知事選で市民と野党の共同が進化し、「なんとしても当選させよう」と多くの市民が立ち上がる選挙となっています。「自公推薦の候補が知事になったら、世界最大出力を誇る柏崎刈羽原発が再稼働されてしまう」という危機感から、市民が動いているのです。

全労連は、10月3日の常任幹事会で米山候補の支持決定を行い、各組織に、①新潟県内に下部組織がある場合、激励・援助を行ってください。②新潟県内に友人・知人がおられる組合員に「米山隆一」氏への支持を訴えてください。③支援カンパをお寄せください。と、呼び掛けました。

いま、全労連事務局では、新潟県内への電話作戦をすすめています。電話をすると、「孫のことを考えたら、やっぱり原発は止めてほしい」「『柏崎刈羽原発の再稼働は認めません』と明言した米山さんに、49歳の若さで頑張ってもらいたい」と、米山さんに期待する声が返ってきます。一方、「うちの村は、決まっているんだ」と締め付けを思わせる反応もあります。

「首相官邸・財界・原子カムラ」VS「県民の共同+野党の共同」の選挙です。投票日含めて残りあと4日間、全国からの支援を新潟に寄せましょう。

戦争に協力しない宣言～県民医連、医療生協健文会と調印



山口医労連は、8月29日の山口民医労の団体交渉に同席した際に、理事に「医労連の呼びかけ」を説明したところ、「理事会へかけるので、資料をメールしてほしい」との返事がありました。後日、山口民主医療機関連合会（山口民医連）と医療生活共同組合健文会（宇部共立病院）に理事用に資料を送付しました。

「複数回の理事会を経て、共同宣言を採択した」という返事と共に、山口民医連から9月20日付で印がついた「共同宣言」の用紙が送られてきました。

また、10月7日、「健文会理事長と調印式をしましょう」と理事から連絡があり、調印式を行いました。

山口県医労連としては、すべての民医連事業所と共同宣言を結ぶ計画です。（医労連 Mail News No. 21 キャラバン行動ニュース⑨より）

【共同宣言内容】

**私たち、医療・介護・福祉に働くものは
いのちと人権を奪う戦争に協力しません**

私たち、医療・介護・福祉労働者は、国民の「いのち」と「健康」を守るために、日夜働いています。いのちを守る私たちの仕事と、いのちを奪い、奪われる戦争は、決して相容れることはありません。国が戦争に向かうとき、医療・社会保障がないがしろにされます。私たちは、国民の「いのち」と「人権」を守るため、戦争に協力しないことを宣言します。